

# 私田正展

誕生110年



2023.

10.13 Fri >>> 12.3 Sun

同時開催



【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:30まで) 【休館日】 月曜日 ※ただし11月6日[ファースト・マンデー]は開館  
【観覧料】 一般 1,000(800)円 / シニア・学生 800(600)円 / 18歳以下無料 ※事前予約不要  
◎当入場券で「誕生110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』—はじめて出会う『源氏物語』」、  
「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」をご覧いただけます。  
※シニアは70歳以上の方( )内は20名以上の団体料金。 ※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等はご持参の方とその介助の方1名は無料。  
【主催】 山口県立美術館、yab山口朝日放送 【共催】 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館 【特別協力】 エフエム山口

山口県立美術館

<https://www.yma-web.jp>

《笛吹舎》(部分) 1989年 油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵



# 源氏物語絵巻

—はじめて出会う  
『源氏物語』

毛利博物館所蔵



2023.

10.13 Fri >>> 12.3 Sun

【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで) 【休館日】 月曜日 ※ただし11月6日【ファースト・マンデー】は開館

【観覧料】 一般 1,000(800)円 / シニア・学生 800(600)円 / 18歳以下無料 ※事前予約不要

◎当入場券で「生涯110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』—はじめて出会う『源氏物語』」、「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派」をご覧いただけます。  
※シニアは70歳以上の方、( )内は20名以上の団体料金。※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】 山口県立美術館・yab山口朝日放送 【共催】 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館 【特別協力】 エフエム山口

同時開催

新指定・重要文化財紹介  
雪舟と雲谷派

山口県立美術館 <https://www.yma-web.jp>

《源氏物語絵巻》  
若菜下(部分) 毛利博物館蔵  
【展示期間】10月13日～11月12日  
※会期中、展示替えを行います。

※毛利博物館では特別展「国宝」[10月28日(土)～12月4日(月)]を開催中です。当展とあわせてご覧ください。



# 源氏物語 絵巻

「源氏物語」はじめて出会う

日本古典文学の白眉とされる『源氏物語』。平安時代、紫式部によって紡がれたこの王朝恋愛長編は、それぞれの時代に即して読み継がれ、さまざまな美術作品を生み出す源泉となりながら、日本文化に大きな影響をもたらしてきました。

本展覧会では、全五巻・五十四帖・六十五場面からなる毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』を入り口として、『源氏物語』はじめて出会う方にも、あるいは久しぶりの方にも親しみやすい演出で、物語の世界へご案内します。そのストーリーはもちろん、細やかで四季の情緒あふれる自然景の描写、秀てた色彩感覚、優美な詞書といった豪華絵巻ならではの『源氏物語』を堪能ください。また合わせて、真内に伝わる毛利家ゆかりの写本や注釈書の優品を展示し、この物語と人びとがどのように出会ってきたのか、その一端をご紹介します。本展を通じて、千年以上にわたって愛されてきた『源氏物語』の魅力にふれていただければ幸いです。

## お嫁入りには『源氏物語』

吉川正正の嫁入りの際、毛利輝元の娘、竹姫が持参した華麗な写本セット。中近世の公家や大名家にとって、『源氏物語』は必携の教養書でした。



毛利家伝来『源氏物語』五十四帖（うち展示は六帖）および源氏軍荷吉川史料館蔵

【交通案内】  
JR新山口駅から山口線に乗り換え  
山口駅下車、徒歩約15分  
JR新山口駅から防長バス山口行きで約30分  
JR新山口駅からJRバス山口行きで約35分  
JR防府駅からJRバス山口行きで約25分  
[山陽自動車道] 防府東ICから車で約25分  
[中国自動車道] (広島方面から) 山口ICから車で約25分  
[中国自動車道] (九州方面から) 小郡ICから車で約25分  
※駐車場は美術館周辺の各駐車場をご利用ください。  
① 駐車場は無料、(200台)  
② は無料、③は最初の1時間のみ無料となります。  
(1時間無料券を配布しますので駐車券をお持ちください。)  
東庁駐車場は土・日曜、祝日のみ開放となります。

## 美術館

山町3-1 Tel.083-925-7788

yma-web.jp

ギャラリーートーク

松田正平展

0～、10月21日(土) 14:00～

「源氏物語絵巻」

よう「源氏物語」

0～、10月28日(土) 10:00～

事前申し込み不要

### 【第一帖 桐壺】

美しく光り輝く源氏の皇子誕生。12歳で華やかに元服



流麗な詞書にも注目!



### 【第十七帖 絵合】

31歳、後宮の権力争いを制して一氣に人生より坂

### 【第十二帖 須磨】

26歳、女性スキャンダルが明るみに、自ら都を離れ、約二年半の謹慎生活



### 【第五帖 若紫】

光君18歳、美少女と運命の出合い。引きとり育て、やがて生涯最愛の妻に



逃げた銅い壺を運んで現れた美少女にひと目ぼれ

### 【第二十二帖 少女】

35歳、念願の大仰宅完成。まご、ゆかりの女性たちを住まわせる



優雅な貴族文化、繊細な描写も見どころ

### 【第三十三帖 藤裏葉】

39歳、子をもちたらの心配事も解決。天皇に次ぐ位に昇進し、人生最高潮

### 【第三十四帖 若菜上】

41歳、ある春の日の事件からはじまる、若妻の憂切り... 極めた栄華に差す影



猫の首紐が御簾(みす)にからまり、光君の若妻の姿があらわに...

### 【第四十帖 幻】

52歳、光君の「終巻」

### 【第四十五帖 橋姫】

二代目主人公、義宇治の橋を守る女神のような姉妹と出会う



### 【第五十二帖 浮舟】

私はいつも誰かの身代わり... 薄幸のラストヒロイン、二人の男性の間で悩んだ末に...



「源氏物語絵巻」尊福法親王調書 五巻 紙本着色 17世紀 江戸時代 毛利博物館蔵 ※【第五、二十二、五十一帖】は部分。

※会期中、展示替えを行います。前掲：10月13日(金)～11月12日(日) / 後掲：11月14日(火)～12月3日(日) 毛利博物館蔵 「源氏物語絵巻」は、前掲に各巻の前半、後掲に各巻の後半を展示します。 ※【第一、五帖】は前掲展示、【第二、三、四、五、十一帖】は後掲展示。



# 松田正平 展

生誕110年

山口県宇部市で幼少期を過ごし、東京、そして第二次世界大戦前夜のパリで研鑽を積んだ松田正平(1913-2004年)。生涯をとおして身近なモチーフを描き続け、晩年には透明感のある独特の表現に到達しました。その繊細で温かみのある作品は、没後20年を迎えようとする今もおおきくの人々を惹きつけています。

本展では、約70点の油彩画と素描を通じて、半世紀以上にわたる画家の創作活動をご紹介します。おおらかにほのぼのとした、詩情豊かな松田正平の世界をご堪能ください。



油絵がわからんから、  
生涯描くでしょう。本気で。  
自分がきれいだなと思ったものを、  
率直に表現したいというのが、私の願いだ。



## 松田正平 (1913-2004) MATSUDA Shohei

島根県出身。  
4歳の頃、宇部の松田家に養子として引き取られる。  
旧制宇部中学校(現・山口県立宇部高等学校)、  
東京美術学校(現・東京藝術大学)を経て、パリに留学。  
戦後は長く関東を拠点に活動した。  
還暦を過ぎた頃から独特の油彩画が注目を集め始め、  
1984年、第16回日本芸術大賞受賞。  
最晩年は故郷の宇部で暮らした。享年91歳。



## 山口県

〒753-0089 山口県山口市  
<https://www.yamaguchi-pref.jp/>

学芸員による

生誕110年

【日時】10月14日(土)10:00-

毛利博物館所蔵  
一はじめて出展

【日時】10月14日(土)14:00-

※各回45分程度

- 1 《ロー「真珠の女」模写》1938年  
油彩/カンヴァス 個人蔵
- 2 《綾取り》1958年 油彩/板 山口県立美術館蔵
- 3 《祝島風姿》1953年  
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 4 《NC楼》1977年  
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 5 《瀬戸内飾》1971年頃 油彩/カンヴァス 個人蔵
- 6 《バラ》1978年 油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 7 《周防灘》1989年  
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 8 《四国犬》1990年  
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 9 《自画像(Mの肖像)》1986年  
油彩/カンヴァス 個人蔵